堅信 準備会 第1回 テーマ 「堅信について、生活に祈りを」(柴田神父)

1) スケジュールの確認

第1回 テーマ「堅信について、生活に祈りを」(柴田神父)

Aクラス 2025年5月18日(日) 11:15~12:45 ヨセフホール

Bクラス 2025年5月21日(水) 18:45~20:15 ヨセフホール

第2回 テーマ「遣わされる」(柴田神父)

Aクラス 2025年5月25日(日) 11:15~12:45 ヨセフホール

Bクラス 2025年5月28日(水) 18:45~20:15 ヨセフホール

第3回 テーマ 「教会生活」(高祖神父)

Aクラス 2025年6月1日(日) 11:15~12:45 ヨセフホール

Bクラス 2025年6月4日(水) 18:45~20:15 ヨセフホール

第4回(ゆるしの秘跡) この日以外にも週日(17時半~18時半)、主日の赦しの秘蹟(9時半~10時半、17時半~18時半)を受けても結構です。

Aクラス 2025年6月8日(日) 11:15~12:45 ヨセフホール

Bクラス 2025年6月11日(水) 18:45~20:15 ヨセフホール

堅信式

2025年6月15日(日) 10:00~ 主聖堂 アンドレア レンボ 司教司式

集合・受付 9:30~ 岐部ホールのピロティに代父母と一緒に受付をしてください。

リハーサル: 9:40~ 主聖堂

ミサが1時間半くらいの予定、続いて記念撮影、ヨセフホールで祝賀会

2) 堅信のために

堅信名について：原則として洗礼名をそのまま使うことが勧められます。けれども、受洗以降、目標とする聖人が見つかり、その生き方になりたい方は、堅信名をつけることもできます。(私は堅信名をパウロにしました)

代父母について：代父母は、受堅者を支え導く大切な役割があります。受洗の時の代父母と交流が全くない場合は、新たに代父母を探すことが勧められます。なお、ご夫婦では代父母にはなれません。まだ決まっていない方は“代父母の会”を通して紹介できます。

2. 堅信の秘跡とは？

洗礼と堅信の違い

- ・ 洗礼は司祭によって、堅信は司教によって行われます。(司教から代理を受けた司祭によっても行われます)
- ・ 洗礼によって新たに生まれた信仰者は、洗礼の後の霊的な闘いのために堅信を受けます。
- ・ 洗礼によって清められるとすれば、堅信によって強められます。信仰者として生き続けるには、堅信の助けが必要です。

Q. 洗礼の時に聖霊が与えられたのに、堅信の時にまた与えられるのでしょうか？

A1. 私たちは聖霊を何かモノのように考える傾向があります。聖霊の体験は、鉛筆のようにモノが与えられるのではなく、神と人との人格的な関わりが深まる体験です。人間同士のように、成長し、成熟に向かうのです。秘跡(堅信を含め)とは、神からの恵みの目に見えるシンボルです。シンボルを通して神との関係が深まるのです。

A2. 聖霊は、一回限りのものではなく、イエス様の復活の日から今に至るまで、ずっと私たちに

(信徒と教会) に注がれ続けます。それはイエスが約束されたことでもあります。「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」(マタイ 28:18~20)

堅信の秘跡のたとえ

・幼い子どもも、成人した子どもも、親の子であることに違いはありません。けれども、成人して親と一緒に働くようになると、より親を理解するようになります。信頼を深め、良き協力者になります。喜びと希望、悩みと苦勞を分かち合えるようになります。このように、受洗した時も神の子ですが、堅信の後は神の協力者になり、神の子としての関係を深めていきます。

堅信の歴史

・堅信の秘跡は、独立した儀式として存在していたものではなく、洗礼(入信)の儀式が徐々に発展しながら成立しました。

・堅信の儀が初めて秘跡としての特徴をあらわすのは、5世紀初頭のイノケンチウス1世教皇(在位402年~417年)の時でした。

・堅信の秘跡は、16世紀に開かれたトリエント公会議の『秘跡に関する宣言』のリストに含まれています。

塗油と按手

・イスラエルでは、油(オリーブ油)は、古代から豊かさのシンボルで、神の祝福のしるしと考えられてきました。油を注がれることは、神の豊かな祝福を受けることを指すようになりました。

・聖書は、神に選ばれ重要な使命に就く人々を塗油や按手によって祝福する習慣を伝えています。

(Ⅰサムエル 16：13、レビ 8：12、イザヤ 61：1、使徒書 13：3、1テモテ 5：22、Ⅱテモテ 1：6～7など)

・「主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために、主がわたしに油を注がれたからである。」(ルカ 4：18)

・「使徒たちは、祈って彼らの上に手を置いた。(按手)」(使徒書 6：6)

・「人々はこれを聞いて主イエスの名によって洗礼を受けた。パウロが彼らの上に手を置くと、聖霊が降った。」(使徒書 19：5～6)

・使徒たちの時代から塗油と按手は、聖霊が降るように祈る、目に見えるしるしです。

・古代教会においても塗油と按手は大切な役割を果たします。聖霊の特別な賜物(特に受洗)に与るしるしとして塗油と按手を行いました。

・わたしたちも、堅信の秘跡で塗油と按手されることで、世の中に出て行って、キリストを証する

使命を果たしていきます。

堅信の秘跡と司教

・堅信の秘跡は通常、司教が授けます。成人の入信の秘跡の場合は、洗礼に続いて司祭が堅信を授けることもあります。ただ、同時に行うとそれぞれの秘跡の意味を深くは理解できないこともあり、司牧的な観点からイグナチオ教会では洗礼式と堅信式を分けて行うようにしています。

・多くの信徒にとって司教と会える機会は、堅信の時くらいしかありません。堅信の秘跡は、小教区に来られた司教と交わる機会ともなります。司教の使命・仕事を伺ったり、小教区との関係についてお話を聞く機会にもなります。

聖霊の7つの賜物

イグナチオ教会の堅信式では、聖霊の7つの賜物、上智、聡明、賢慮、勇気、知識、孝愛、主への畏敬を受けます。そのシンボルが堅信式で灯される7色のろうそくです。

3) 受洗→堅信へ（堅信の秘跡を受けて信仰をどう生きるか？ どのように伝えるか？）

洗礼のきっかけ 私の場合 スポーツ（大学の体育会の合宿所を飛び出してしまった）の挫折の体験→初めて訪れたイグナチオ教会でのミサ後にご婦人が掛けた言葉「あなたの願い事がかなうといいわね」

Q. あなたの洗礼のきっかけはどのようなものでしたか？ 何を求めて教会に来られてでしょうか？

堅信のイメージ （神様から求められていることを果たすため。信仰を社会の中で実践する役割。）

・私の場合 大学を卒業してプレハブ住宅の営業に

入社→名刺をいただきお客様のところへ→契約に向けて努力→成約→引き渡し→アフターサービス

名刺をいただいて、お客様のところへ派遣される。「顧客満足を果たす中で福音を伝える」（マリア様の心で仕事をすることを意識するように）

- ・上司の教え「競合が何社あっても、お客様の期待を上回り続けたら契約できる」
- ・日曜日仕事、仕事中心の生活で、復活祭・クリスマスくらいにしかミサに行けない。

信仰が成長するきっかけ

- ・会社に入って4年目から南山教会（名古屋勤務）の祈りと奉仕の集い「レジオ・マリエ」に参加。
筋ジストロフィーの方の入浴介助の奉仕とロザリオの祈り。能力やお金の世界から分け隔てのない世界の併存。休日のボランティア。
- ・営業の仕事は水曜日がお休みのため、ミサに与ることはあまりありませんでしたが、信仰の恵みをたくさんいただきました。
- ・身障者と一緒に湯船に浸かっている時には健常者とのバリアがなくなる体験をしました。
- ・業績のプレッシャーを受ける営業と無償の奉仕を交互にする中で司祭への召し出しに繋がりました。
- ・レジオの集会では、ロザリオ、活動報告、霊的読書が毎週行われ、キリスト者共同体の良さを感じました。

人生の目標 1

ロザリオの祈り（よろこびの奥義）

第二の奥義

マリアは大天使から、親戚のエリザベトが神の恵みによって子を宿したことを知り、ユダの山地にエリザベトを訪問する。

この1連をささげて、自分のことよりも、いつもよろこんで他人に奉仕する愛の心が深まることができるように聖母マリアの取り次ぎを求めましょう。

→マリア様の心でボランティアをする→会社でも、生き方でも、と発展していく。

人生の目標 2

「あなたがたもこのように働いて弱い者を助けるように、また、主イエス御自身が『受けるよりは与える方が幸いである』と言われた言葉を思い出すようにと、わたしはいつも身をもって示してきました。」（使徒書 20：35 ミレトでのパウロの演説）

受けるより与える方が素晴らしい喜びにあふれる。なぜなら、私たちは、他の人を喜ばせるときに自分が創られた意味を味わうからです。

人を喜ばせるにはどうしたらいいか？ 特別なタレントはなくても創意工夫・試行錯誤を続ける。

カナの婚宴のマリア様の態度から学ぶ (ヨハネ 2: 1~11)

カルロ・マリア・マルティニー『人びとと共に歩むマリア』より 吉向キエ訳 女子パウロ会 1993年 表現を変えています。

プラスアルファをもたらすマリア様 (自分のことだけで精一杯になりがちな社会に潤いを)

新郎新婦は婚宴の終わりに葡萄酒がなくなること、その後、どうしたらいいか？ というところまで頭は回っていなかった。

1. 全体を見る

マリア様にも奉仕の役割があったでしょうが、全体を見て足りないところを見つけられます。

2. 深入りする

ぶどう酒がなくなること気づいても、踏み込むと厄介なことになります。だから、みて見ぬふりをしがち。でも、マリア様は深入りされます。

3. 動じない

息子イエスにぶどう酒がなくなりかけていることを伝えても、はじめはぶっきらぼうな態度を取られます。それでもマリア様は、イエスが何かしてくれるに違いない、と信じて動揺しません。

・「期待を上回る」：「カナの婚宴でのマリア様の態度 (プラスアルファを提供する)」

・100坪で8000万円の物件、4000万円の残金は建物の出来を見て支払うかどうか？ 判断する、と言われてしまう。今から何をしたら？ (すでに業者さんのクリーニングは入っていましたが) 引き渡しの前の晩、9時~1時まで、朝5時~8時、クリーナーをかけ、床を雑巾掛け、ガラスは新しいタオルで拭き、食器棚は消毒してすぐにスプーンなど入れられるようにしました)

結果「残金も気持ちよく払っていただき・・・とても満足しています。友人が家を建てることがあったら柴田さんを紹介したい」と言っていただきました。満足いただけて良かった。

・柴田さんの働き方には宗教性がありますね（ドイツで哲学を学ばれた方。信者さんではありませんでしたがイエズス会の神父さんにもお世話になったそう）

振り返りの質問

Q. 洗礼を受けてからあなたの信仰はどのように成長したと思いますか？

4) 生活に祈りを取り入れる（それぞれで工夫する：信仰の柱になる）

- ・アシジの聖フランシスコの平和を求める祈り：学生時代の入門講座で唱えていた祈り
- ・車で移動中のロザリオ（お言葉通りこの身になりますように。マリア様の心を浸透させる）
- ・車で移動中の音楽（聖霊の働き、神様を垣間見る：お勧めの曲は [参考資料をダウンロードしてください](#)）
- ・ボランティア活動（見ず知らずの人を助けることを生活に組み込む）
- ・聖霊の働きを願う祈り（聖霊は捉えどころがないですが、祈りを唱え続けるうちに・・・働いてくださることも）

聖霊の導きを願う祈り（ベニ・サンテ・スピリトゥス） 暗記で祈れる祈りを身につけましよう。

聖霊、私たちの心に来てください。信じる人の心を満たし、あなたの愛の火を燃やしてください。

神よ、あなたの愛の息吹を送って、すべてを造り、地の面（おもて）を新たにしてください。

先唱：神よ、あなたは聖霊の光によって、信じる人々の心を照らしてください。聖霊のうちにあって、わたしが正しいことを愛し、その慰めによって、喜びに満たされますように。主、キリストによって。 アーメン

・主の祈り「天におられるわたしたちに父よ」と繰り返し何回も唱える。(参考資料をダウンロードしてください)

2018年度 山口県周南市の2つの幼稚園に加えて光市の園長も引き受けることになりました。その幼稚園は、前に園長をしていた神父さんがモンテッソーリ教育を否定し、園全体が混乱していました。職員室に入っても歓迎されていないのを肌で感じました。こちらも「やりたくて3つも園長しているわけじゃないし・・・3つになると分散して、子供の成長も見れなくなるし・・・運動会も聖劇の発表会も重なって見れなくなるし・・・」という気持ちでした。これまで休みだった月曜日まだ暗いうちに光市の幼稚園に向かうのは気が重かったです。重たい気持ちを抱えながら運転を始めるとき、「主の祈り」の出だし「天におられる わたしたちの父よ」と繰り返し唱えました。20分くらい繰り返し唱えると「いま私は、行きたくない3つ目の幼稚園ではなくて、天におられる父に向かって運転している」と思えるようになりました。「子どもたちのかけっこしよう、ドッジボールしよう、カブトムシで遊ぼう」と楽しむことを考えられるようになりました。その幼稚園の園長は1年で終わりましたが、次の園長先生へは良い引き継ぎができました。「天におられる わたしたちの父よ」と唱えた成果を感じました。以来、「どうしてこんなことしなければならないだろう？」ということがあると「天におられる わたしたちの父よ」と唱えると心が落ち着いてきて「あの時乗り越えられたように今回も乗り越えられる」と思えるようになっていきます。

・イエスみ名を求める祈り (参考資料をダウンロードしてください)

司祭に叙階されるには、修練期2年、哲学期2年、中間期2年(学校の先生の実習など)、神学期4年、約10年かかります。その神学期、神学生が住む共同体の人間関係が悩みました。司祭になるのを続けるかどうか悩みました。ミサで「平和のあいさつ」がありますが、目を合わせて挨拶もできません。眠れない布団の中で唱えていたのが「イエスのみ名を唱える祈り」です。 この祈りは、頭で考えてするのではなく呼吸に合わせて唱えます。「主よ、あわれみたまえ」「キリスト、あわれみたまえ」という単純な祈りを吐く息、吸う息に合わせて唱えます。初めの頃は試行錯誤でじっくりするまで時間がかかりますが、定着してくると、いつでもぐるぐるこの祈りが生活のバックグラウンドミュージックのように流れ出します。 この祈りの良いところは、考え事・悩み事は脇に置いて、単純に神様・イエス様にあわれみを願えるところです。聖書に登場する重い病を負った方たちが、苦しみの底から神様に救いを求めたように、自分も神様・イエス様にあわれみを願います。段々と「自分のような弱い人間に神様はあわれみを注いでくださる」という気持ちになっていきます。また、生活のどの時間でも祈ることができます。忙しい方には、身につけるととても助けになる祈り方です。

Q. あなたの祈りの生活はいかがですか？ 柱になる祈り方はありますか？

Q. 信仰を生きる難しさ、実りを感じていますか？

お勧めの本

『祈り その小道を歩く』 須永和弘著 女子パウロ会 2019年 1,210円

『目からうろこ ミサのあずかり方』 来住英俊神父 女子パウロ会 2006年 800円 シリーズあ

り

2025年度 堅信準備会資料

・推薦の音楽

・→関連して “What is Ignatian spirituality？” 『イグナチオの霊性とは？』 柴田神父の私訳

David L. Fleming, SJ著 Loyola Press A Jesuit ministry出版 2008年発行

・イエスの教えてくれた祈り 「主の祈り」を現代的視点から カルロ・マリア・マルティーニ著
篠崎榮・レナト・フィリピーニ共訳 教友社 2013年

・イエスのみ名を求める祈り

→関連して 『無名の順礼者 あるロシア人順礼者の手記』 齋田靖子, P.A.ローテル 訳 エンデル
レ書店

次回分に関連して 『弱さを身に負うがゆえに』 マイケル・J・バックレー

1975年 アメリカのイエズス会の叙階式での説教

神学ダイジェスト 1985年 59号P77～83

・『目からうろこ ミサのあずかり方』 来住英俊神父 女子パウロ会 2006年 800円